

高次脳機能障がい者のニーズの把握のための調査  
調査結果

# 目次

## 調査の概要

- 1 調査の目的
- 2 調査内容
- 3 調査の概要

## 調査の結果

### 質問事項

#### 1 基本的事項

記入者

本人

手帳

介護保険

障害福祉サービス

年金

#### 2 問 1

- 1 現在ご本人はどちらにいらっしゃいますか
- 2 入院と答えられた方、どのような病院ですか
- 3 施設と答えられた方、どのような施設ですか
- 4 発症（受傷）から現在までに、何回、入院（入所）しましたか
- 5 現在、当障がいでは病院などに通院していますか

#### 3 問 2 高次脳機能障がいの説明について

- 1 いつ？どの？医師から説明を受けましたか
- 2 説明を受けた方へお尋ねします  
説明の内容が 1.理解できた 2.よく分からなかった
- 3 説明が理解できた方へお尋ねします。どの様な説明を受けましたか
- 4 医師のほかに、高次脳機能障がいについて説明を受けたスタッフは誰ですか
- 5 説明を受けなかった方にお尋ねします  
高次脳機能障がいであることを「知る」きっかけとなったものは何ですか

#### 4 問 3 リハビリテーションについて

- 1 高次脳機能障がいのリハビリテーションを受けたことがありますか
- 2 「ある」と回答された方にお尋ねします  
どちらでリハビリテーションを受けましたか
- 3 リハビリテーションでは、どのような職種が関わりましたか
- 4 どのようなリハビリテーションを受けましたか（自由記載項目）

#### 5 問 4 ご本人の日常生活の様子について

- 1 ご本人は普段どの様に過ごされていますか
- 2 次のようなことが自分一人ですみますか  
身の回りのこと、本人の医薬品の服用、食事の支度、掃除、洗濯、家の中の整理整頓、TV等のリモコン操作、電話の応対、買い物、金銭の管理、銀行・市役所などの用事

#### 6 問 5 ご本人の外出の様子について

- 1 外出の頻度について
- 2 - 1 一人で外出する時は、主にどのような方法でしていますか
- 2 - 2 一人で外出する時の主な外出先はどこですか
- 3 - 1 同伴者があれば、外出は主にどのような方法でしていますか
- 3 - 2 同伴者がいる時の主な外出先はどこですか
- 3 - 3 主な同伴者はどなたですか

7 問6

- 1 ご本人と一緒に住んでいるご家族はどなたですか
- 2 その中で、主に介護をしている方はどなたですか
- 3 キーパーソンはどなたですか

8 問7 相談について

- 1 - 1 今一番、相談できる人はどなたですか
- 1 - 2 その方々の内、月に1回以上、会う方はいらっしゃいますか
- 2 相談機関を利用されたことはありますか
- 3 あると答えた方へ それはどのようなところですか

9 問8 福祉サービス等の利用状況について

- 1 現在、福祉等のサービスを利用されていますか
- 2 利用している方にお尋ねします、どのサービスを利用されていますか
- 3 問8-1で「利用していない」と回答された方へお尋ねします理由を教えてください
- 4 問8-3で「3.利用したいサービスがなかった。」と回答された方へお尋ねしますどのようなサービスがあったら良いと思われますか（自由記載項目）

10 問9 収入について

- 1 ご本人に収入はありますか
- 2 どのような収入ですか

11 問10 就労について

- 1 ご本人は就労または就学していますか
- 2 受傷・発生時の職業等は何でしたか
- 3 現在の職業等は何ですか

12 問11 現在、ご家族（及びご本人）が日常生活でお困りのこと

- 1 障がいの症状について
- 2 介護者の負担（自分の健康、自由に外出できない、家族の理解、ストレス等）につき、ご自由にご記入ください（自由記載項目）
- 3 経済面での心配はありますか（自由記載項目）
- 4 行政サービスへの要望はありますか（自由記載項目）
- 5 その他、ご自由にご記入ください（自由記載項目）

13 問12 発症（受傷）後の経過の中で、「最もためになったこと又は学んだこと」等がありましたら、ご記入ください（自由記載項目）

14 自由記載項目（疾患別記載） 外傷、脳血管障がい、低酸素脳症

## 1 調査の目的

高次脳機能障がい者の支援を行うためには、適切な医学的リハビリテーションや生活訓練、就労・就学支援など、その障害の特性を踏まえた個別かつ長期的な関わりが必要である。

また、高次脳機能障がい者の日々の生活上の支援は、そのほとんどを家族が担っているとされている。当事者家族に対する支援も重要であるため、家族が抱えている問題を捉え、具体的な支援方法を検討していかなければならない。

そこで大分県高次脳機能障害連絡協議会が、大分県の委託を受けて高次脳機能障がい者の家族に対して聞き取り調査を行い、高次脳機能障がいの症状や生活上の問題の捉え方、家族のニーズについて具体的な調査を行った。

## 2 調査内容

大分県内の高次脳機能障がい者の家族を対象に生活上の問題点や具体的ニーズなどについて聞き取り調査を行った。

## 3 調査の概要

### 対象

大分県内に在住する高次脳機能障がい者の家族

### 調査期間

平成 18 年 12 月 21 日～平成 19 年 3 月 31 日

### 調査方法

面接方式による聞き取り調査を実施した。まず予備調査として大分県内ほとんど全ての病院、施設(福祉施設、公共施設、作業所等)、学校(養護学校、訓練校等)、及び家族会等、約 540 ヶ所にアンケートを施行。その後ご協力を頂ける対象となる家族に対して本調査書類を郵送した。聞き取り調査は、聞き取り調査日を設定し、面接して実施する他、協力医療機関での面接による聞き取り、又は電話にて聞き取り調査を行った。